

# 地理 問題

[I] 自然地理に関する以下の問いに答えよ。

- 問1 下の地形図中にある「湯之沢川」の分水嶺（分水界）を地形図上に実線で記入せよ。
- 問2 分水嶺（分水界）で囲まれた範囲を示す用語を答えよ。
- 問3 愛宕南部にある矢印で示した発電所の動力源を答えよ。



- 問4 次の用語を説明せよ。
- (1) メルカトル図法
  - (2) 地理院地図

- 問5 次の用語を説明せよ。
- (1) 気温の通減率
  - (2) 外来河川

# 地理 問題

【Ⅱ】 工業に関する以下の問いに答えよ。

この図表は、著作権の関係により掲載ができません。なお、出典情報は以下の通りです。

[出典情報]

出典：『数字で見る日本の100年（日本国勢図会長期統計版）』（p226）

出版社等： 矢野恒太記念会

著作者名： 矢野恒太記念会（編さん）

問1 図1は日本の工業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等を示したものである。

- (1) 1970年から1975年に従業者が減少した理由を述べよ。
- (2) 1990年以降に従業者数、事業所数ともに減少している理由を述べよ。
- (3) 1事業所当たりの出荷額が増加し続けている理由を述べよ。

問2 工業立地に関する文章として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ①アパレル製品の企画やデザインを行う事業所は、消費市場の情報を求めて大都市に立地する傾向がある。
- ②アルミニウム工業は、大量の電力が安価に得られる地域に立地する傾向がある。
- ③電気機械工業は、安価で大量に生産される製品ほど豊富な労働力を求めて先進国以外の地域に立地する傾向がある。
- ④ビール工業は、原料の大麦やホップが豊富に得られる農山村地域に立地する傾向がある。

問3 中国の工業化に関する文章として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ①1960年代後半から文化大革命の影響が全国各地に広がり、その期間中の混乱にともなって、工業生産が停滞した。
- ②1980年代に入り、経済特区が沿岸部に指定され、外国企業の誘致による輸出指向型工業への転換がはかられた。
- ③1980年代後半には、余剰労働力を非農業部門で活用する郷鎮企業が急増し、農村部に普及していった。
- ④2000年代に入り、沿岸部と内陸部の格差是正を目的に、西部大開発を進めた結果、内陸部に先端産業が集積した。

問4 以下の用語について説明せよ。

- (1) 輸入代替工業
- (2) 輸出指向型工業
- (3) 輸出加工区

# 地理 地形図・解答用紙

氏名				
受験番号				

[I] 問1



採点欄	
-----	--

(裏面を使用する場合は表の氏名欄が下になるようにすること。)

---

[ I ]

問2

--

問3

--

問4

(1)	
(2)	

問5

(1)	
(2)	

---

(これより下には解答を記入しないこと)

# 地理 解答用紙

氏名				
受験番号				

[Ⅱ]

問1

(1)	
(2)	
(3)	

問2

--

問3

--

問4

(1)	
(2)	
(3)	

採点欄、	
------	--

(裏面を使用する場合は表の氏名欄が下になるようにすること。)